

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和2年1月8日（水）

2 確認箇所

浄化槽汚泥処理施設

3 確認項目

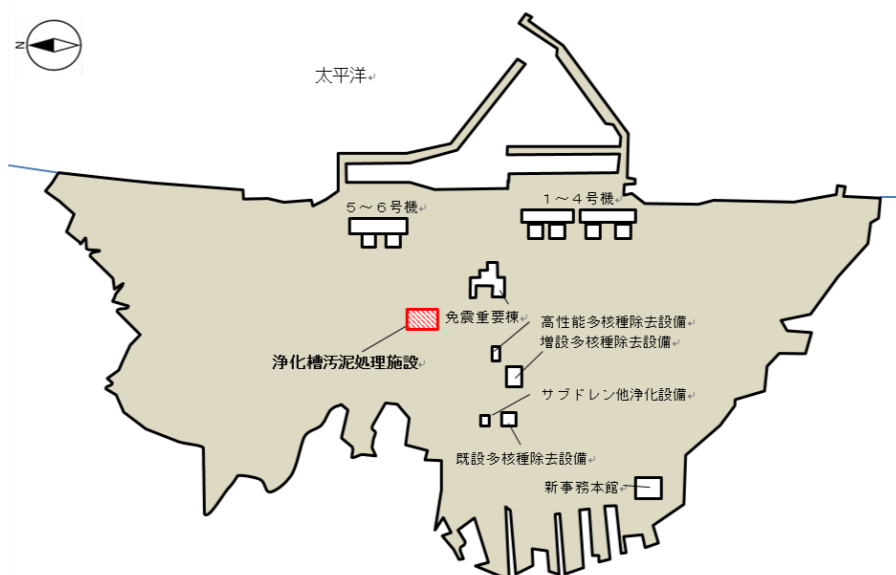
浄化槽汚泥の処理状況及び処理後汚泥の保管状況

4 確認結果の概要

構内で発生した浄化槽汚泥は、各浄化槽からバキューム車で汲み上げられ、構内に設置されている浄化槽汚泥処理施設へ運搬し処理され、その後タンクで保管されている。

本日は当該処理施設の状況及び処理後汚泥の保管状況について確認を行った。（前回確認：[平成29年1月17日](#)）

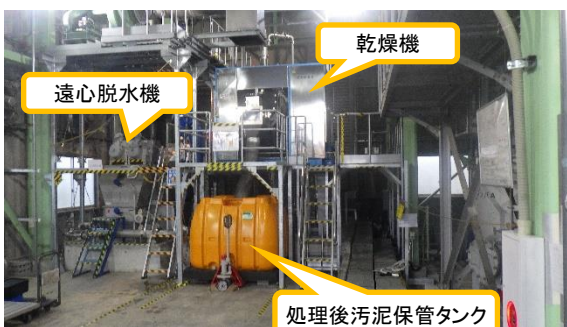
- ・汚泥処理施設は、前回確認した場所と隣接した場所に新たに設置されていた。（写真1）
- ・処理後汚泥を保管したタンク（ 2 m^3 ）は、処理施設北側に54個、南側に24個の計78個保管されており、フォークリフト用パレットの上に乗せた状態でベルトで固定されていた。また、目視確認した範囲ではタンクの劣化はなく、汚泥の飛散等もなかった。（写真2）



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1 - 1)
新設処理施設が設置されている建屋



(写真 1 - 2)
新設処理施設外観
遠心脱水機により脱水処理され、脱水された汚泥は乾燥機で乾燥され、タンクに保管される。



(写真 1 - 3)
既設処理施設が設置されている建屋



(写真 1 - 4)
既設処理施設外観



(写真 2 - 1)
処理後汚泥保管状況（施設北側）
No. 1～No. 53 までのタンクが保管されている。



(写真 2 - 2)
処理後汚泥保管状況（施設南側）
No. 54～No. 78 までのタンクが保管されている



(写真 2 - 3)
タンクの固定状況



(写真 2 - 4)
処理後汚泥保管タンクには番号が表示されており、この番号でタンクの個数を管理している

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。